

- 2面 【学会の目・眼・芽】 社会課題から見えてくる造園分野の可能性
大阪公立大学大学院 農学研究科 緑地環境科学専攻・緑地計画学研究室 准教授 松尾 薫
- 3面 日造協会員の GREEN × EXPO 2027 への取り組み紹介
- 4面 【ふるさと自慢】 穏やかな海と島々が織りなす「瀬戸内の美と豊かさ」
岡山県支部 青木 浩平（瀬戸内造園(株)）
【緑滴】情熱の国からの留学生 アイメちゃんと過ごした3カ月
福島県支部 赤井田 仁子（赤井田造園土木(株)）



都市緑化キャンペーン

井林辰憲 国土交通大臣らが花鉢を配布



中央：井林辰憲国土交通大臣、左：高梨雅明都市緑化推進運動協力会会長、右：河村正人2027年国際園芸博覧会協会事務総長。着物の女性は日本さくらの女王とさくらプリンセス

「都市緑化キャンペーン2026」のオープニングセレモニーが10月2日(金)、東京都千代田区の有楽町駅前広場で開催された。

会場では都市緑化キャンペーンや来年3月から約半年間開催する2027年国際園芸博覧会「GREEN × EXPO2027」の紹介が行われ、博覧会のキャラクター「トウンクトウンク」も登場したほか、井林辰憲国土交通大臣、高梨雅明都市緑化推進運動協力会会長、河村正人2027年国際園芸博覧会協会事務総長、第31代日本さくら

の女王の清水悠華さん、第31代さくらプリンセスの登島一華さんをプレゼンターにコンテナシクラメンなど700鉢の花鉢の配布が行われた。

都市緑化キャンペーンは、「ひろげよう 育てよう みどりの都市」をテーマに、日造協をはじめ、緑化関連の18団体で構成される都市緑化推進運動協力会等が主催、国土交通省、東京都、千代田区、全国知事会・市長会・町村会の後援で開催。多くの人で賑わった。

「造園施工管理技術検定受験対策講習」を実施



講座の様子

7月から8月にかけて、北海道総支部・四国総支部・中国総支部において、本部と連携のもと「1級造園施工管理技術検定（第一次）受験対策講習」を実施した。

本講習は、試験合格に向けた知識の習得および理解の定着を目的としており、過去10年間の出題傾向を分析したうえで、頻出分野や重要ポイントを中心に、1日で効率的に学べる内容としている。

講師は、本部の伊藤専務理事や総支部の会員が務め、今年度の受験予定者等が受講された。講義では、試験の出題傾向や学習のポイントについて、過去問題を交えながら分かりやすく解説が行われ、受講者は熱心に耳を傾けて

いた。また、要点を整理しながら学習を進めることで、理解を深めるとともに、検定に向けた学習方法についても確認する機会となった。なお、受講者は特典として、当日の講習を収録した動画を検定当日まで視聴できる。

受講者からは、「重要なポイントを効率よく学ぶことができた」「試験対策の方向性が明確になった」などの声が寄せられ、有意義な講習となった。

日造協では、今後も造園技術者の資格取得を支援するとともに、技術力の向上や人材育成につながる各種講習を実施し、造園業界の発展に取り組んでいく。

樹林

（一社）日本造園建設業協会理事
北造園(株) 代表取締役 北 総一郎



造園業界の今後の展望と社会的意義

日本の造園業界は今、戦後最大とも言える大きな転換期を迎えています。我々が直面しているのは、各地で発生する「大規模自然災害への対応」という重大な責務と、各地の歴史の中で受け継がれてきた「伝統造園技術の継承」という二つの至上命題です。

まず、地震・豪雨等の災害からの復旧において、我々造園業界が果たすべき役割は極めて多岐にわたります。住宅や公共施設の庭園、公園、道路緑地帯といったグリーンインフラの修復は、地域の安全と日常を取り戻すための急務です。

そして我々の真の価値は、ハード面の復旧に留まりません。我々の専門分野である「花や緑」を通じ、被災された方々の心に安らぎと笑顔を届ける「心を支える復興」こそが、造園業界による真の社会貢献であると確信しています。

緑の持つ治癒力を最大限に引き出し、地域のコミュニティ再生に寄与することは、業界全体のプレゼンスを高める契機であり、同時に果たすべき責務でもあります。

同時に、我々が守るべき日本の造園技術は、世界に誇るべき無形の資産です。各地の名勝や日本庭園に象徴される高度な管理技術を、いかに次世代へ繋いでいくか。

身近な公園や景観を高い水準で維持管理し続けることは、地域の文化的価値を不動のものにし、観光誘致の基盤を支えることに直結します。

ここで我々は、これまでの都市計画のあり方を猛省しなければなりません。巨額の予算を投じてハコモノ（建築物）を造り、その維持管理費に

は躊躇しない一方で、「予算がない」「維持管理がかさむ」という理由で緑化予算を真っ先に削る。このような、画一的な開発を是とする思考は、今こそ改めるべきです。

地域住民にとっての本当の「住み良い生活環境」とは何なのか。そして、観光客がその土地に何を求めて訪れるのか。そこに暮らす「住を豊かにする」、訪れる人を「もてなす」という本質的な視点に立ったとき、我々造園業界こそが地域の未来に最も貢献できる唯一無二の建設業であると確信しています。

さらに現代は、カーボンニュートラルや生物多様性の保全といった「環境配慮」、そしてそれらの課題を解決する新たな生活様式への対応が不可欠な時代です。

我々は、先人たちが築き上げた伝統的な美意識や「自然との共生技術」を基軸に据えつつ、最新の環境技術やDXを柔軟に融合させなければなりません。

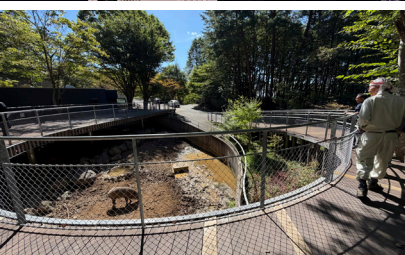
伝統を墨守するだけでなく、時代に合わせて進化させることで、造園業の新たな市場価値を創造していく必要があります。

災害復興への使命感と伝統への誇りを胸に、技術の研鑽を怠らず、職人としての矜持を次世代に継承していく仕組み作り。そして、緑化を基盤とした持続可能な都市再生。これらこそが、まさに今、業界に求められている使命です。

我々造園建設業界は、地域社会の未来を切り拓く先駆者として、誇り高く、力強く歩みを進めていく決意です。



岩手県内にて9月29日(火)、本部と東北総支部・支部交流会を開催した。交流会では活発な意見交換・情報交換が行われ、翌日は支部の会員が改修に携わった盛岡市動物公園 ZOOMO をはじめとする現地視察を行った。これから順次各総支部・支部と交流会を開催していく。



盛岡市動物公園 ZOOMO

第53回全国造園デザインコンクール 4部門の応募要項を改めてご案内

全国造園デザインコンクールは、造園のデザインと製図技術の向上を目的に昭和49年にはじまりました。美しい国土と安心・安全で快適な生活環境を実現する多様な造園空間を対象に、デザイン、設計技術、表現手法の向上を図り、次世代を担う青年の造園に対する興味を醸成し、入職促進に寄与することを目的として毎年実施しています。

5月号でも応募要項をご紹介しましたが、応募期間中の再周知として、改めて「第53回全国造園デザインコンクール」4部門の応募課題をご案内します。

2027年1月に募集する、応募課題は「住宅庭園」「街区公園」「商業施設」「実習作品」の4部門で、近年のコンクールは各部門とも、デザイン、設計技術、表現手法だけでなく、社会情勢の変化などを踏まえた新しいアイデアを取り入れた作品を加点評価します。

応募作品の表彰は、高校生の部で最も指導力に優れた高等学校を対象とする「文部科学大臣賞」(1校)、全応募作品の中から総合的に最も優れた作品に贈られる「国土交通大臣賞」(1点)をはじめとする特別賞を設けています。

また、高校生の部、大学・一般の部

それぞれについて、「入賞」「佳作」を選出します。

ぜひ、皆さまの創意工夫を生かした作品をご応募ください。

■応募期間・結果発表

住宅庭園、街区公園、商業施設、
実習作品部門

応募期間：2027年1月4日(月)～
1月13日(水)

結果発表：2027年2月1日(月)

■表彰式

日時：2027年2月20日(出)

会場：ホテル東京ガーデンパレス
(東京都文京区)

なお、すでに募集を締め切りました2027年国際園芸博覧会「自然の恵み広場」プラン賞については、厳正なる審査の結果、選出された4点を次号にて発表いたします。

第53回 全国造園デザインコンクール

あなたのデザインが 2027年国際園芸博覧会で「自然の恵み広場」プラン部門

第01募集 | 2027年国際園芸博覧会「自然の恵み広場」プラン部門

高校生対象

応募期間 2026年9月1日(月)～8日(水) (消印有効)

結果発表 2026年10月30日(金)

第02募集 | 住宅庭園部門 街区公園部門 商業施設部門 実習作品部門

応募期間 2027年1月4日(月)～13日(水) (消印有効)

結果発表 2027年2月1日(月)

日本造園建設業協会では、多様な造園空間を対象に、デザイン、設計技術、表現手法の向上を図る機会、また、造園に対する興味を持っていただくことと1974年より「全国造園デザインコンクール」を開催しています。

応募資格

高校生

- 造園に興味を持っている方
- 高等学校において造園に関する科目を履修している方

大学生・一般

- 造園に興味を持っている方
- 大学、大学院、短期大学、専門学校等において、造園に関する科目を履修している方
- 造園の設計・施工管理などに従事している方

※応募に関する詳細は、「全国造園デザインコンクール応募要項」をご覧ください

賞

- 文部科学大臣賞
- 国土交通大臣賞
- (公社)日本造園学会会長賞
- (一社)日本造園建設業協会会長賞
- (一社)ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞
- 全国農業高等学校長協会理事長賞
- 2027年国際園芸博覧会「自然の恵み広場」プラン部門

※グループ応募の場合、賞状とトロフィーは1点のみ、参加賞は人数分授与いたします

主催 一般社団法人 日本造園建設業協会 Japan Landscape Contractors Association

リーフレットデザイン：宮師鈴(建築士イラストレーター) | 第40回全国造園デザインコンクール 国土交通大臣賞受賞

TEL.03-5684-0011

または日造協・HP 問い合わせフォームよりお問い合わせください。

QRコード

EXPO 2027

みどりをはぐくむ 明日のために

© Expo 2027

リーフレット(第40回コンクールで国土交通大臣賞を受賞し、
建築士・イラストレーターとして活躍されている宮師鈴さん作成)

学会の目・眼・芽 第154回

社会課題から見えてくる造園分野の可能性

大阪公立大学大学院 農学研究科 緑地環境科学専攻・緑地計画学研究室 准教授 松尾 薫

私が造園学という分野に本格的に関わるようになったのは、とても最近です。

学生時代は建築学の都市環境分野で研究を行っていました。その時から都市の緑や屋外空間を研究対象としてきたものの、自身の専門が「造園学の中の緑地計画学」ですと、ここ2、3年でようやく言えるようになりました。

多くの造園分野に携わる皆様との交流を通じて、造園学は想像していた以上に幅広い領域を扱っていることに驚きました。

庭園や公園はもちろん、都市計画、景観、生態系、防災など、人と自然が関わるさまざまな場面に造園が関係していて、建築や都市計画を包含

している土台のような存在だと感じます。

学生時代の設計演習で屋外空間に出来合いのカスミ草をさしていただけの自分が恥ずかしい限りです。

私自身は、夏季の暑熱環境と緑との関係を研究してきました。しかし、緑は暑熱緩和だけでなく、人が歩き、滞在できる環境をつくる、景観を魅力的にする、豪雨に対応する、生物多様性に貢献するなど、さまざまな役割を持っています。

最近では、緑があるかないかだけでなく、都市のどこに、どのような緑があることが効果的なのかに関心を持っています。

想定外の災害が頻発する気候変動時代に、緑の力をより効果的に発揮

気候変動による都市の高温化や豪雨の増加、人口減少による空き地の増加に適応した都市づくりに向けて研究を行っている。例えば、自身の気象観測調査に加えて気象シミュレーションモデルやGIS(地理情報システム)を用いて都市の環境を把握し、どのような場所に緑地が必要かを検証している。



させるにはどうすればよいのか。これは研究だけで答えが出るものではなく、実際に緑をつくり、育てている造園の現場から学ぶことも多いと思っています。

造園の外にいた立場からすると、こうした造園の広がりや可能性が、社会に十分知られていないと感じます。

「造園」は庭や植木だけではなく、気候変動や人口減少といった、これからの社会そのものに関わる課題と向き合っています。だからこそ「緑をつくり、管理する仕事」に加えて「都市や地域をつくる仕事」として、より積極的に社会へ発信する必要があります。

一方で、「ランドスケープを勉強したい」学生は増えています。私のように建築や都市計画など別の分野に関心を持っていた学生が、学んでいく中でランドスケープに出会い、その面白さに気づくこともあります。

こうした学生たちを見ていると、造園分野には、これまで以上に多様な人が関わる可能性があると感じています。

私自身もまだまだ造園について学ぶ立場ですが、日造協の皆様との交流を通じて、現場で培われてきた知識や技術を学生とともに学びながら、研究や教育の側からも造園の可能性を広げることに少しでも貢献できればと思っています。



乗用×ラジコン式 草刈機

NEW

ラジコンハンマナイフモア

ZHM1550RR-RC

ダブルアール アールシー

ハンドガイドとラジコン操作を切り替えて使える「1台2役」。作業効率の向上と安全性を両立。広大な河川敷やスキー場等の維持管理で力を発揮。



送信機

動画公開中!



ZHM1550RR-RCは、ZHM1550RR本体とZHM1550RR用RC KITで構成されています。

※RC KIT単体での販売は行っておりません。



ラジコンモード
傾斜地での
安全を確保!

搭乗作業
作業効率がよく、
体もラク!

ハスクバーナ・ゼノア株式会社 〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9

お問い合わせ先

東北支店 050-3354-7002 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県

中部支店 050-3354-7003 富山県・石川県・福井県・岐阜県・愛知県・三重県・静岡県

大阪支店 050-3354-7005 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

西部支店 050-3354-7009 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州支店 050-3354-7012 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

本社・左記エリア以外

0570-550933 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日除く)

info.hv@husqvarna.jp ゼノアHP www.zenoah.com/jp/

日造協会員の GREEN × EXPO 2027 出展への取り組みについて

2027年3月19日から9月26日まで横浜・上瀬谷で開催される2027年国際園芸博覧会の準備が進んでいます。日造協会員も多数出展しますので、本号よりその概要をご紹介します。

雄大な自然とともにその先の道へ歩む庭園

北海道、(一社)北海道造園緑化建設業協会、(一社)日本造園建設業協会 北海道総支部共同出展

出展場所：【屋外】東側エリア／50㎡
します。また、自然豊かな北海道を象徴する野生動物のオーナメントを庭園の端々に設置します。

世界気候帯区分では、多くが温帯に属する本州に対し北海道は冷帯(亜寒帯)に属し気温・湿度ともに低く四季の変化が明確であり針広混交林が特徴的であるため、トドマツ、ミズナラ、イタヤカエデ、カツラなどを用いて北海道の雄大な森林を表現し、人の営みが感じられる部分はガーデン文化を表す花卉類で表現します。

特に雪や氷を連想させる白色や銀色系の植物及び白色石材を多く使用



神奈川神社

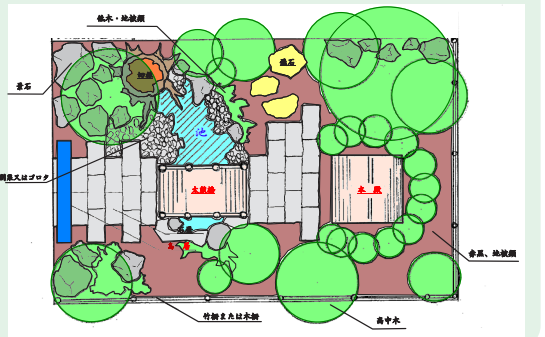
(一社)日本造園建設業協会神奈川県支部

出展場所：【屋外】伝統・歴史②／25㎡

県内には、鎌倉時代から続く神社など、多くの聖地が点在することから、してもよい箇所を新たな神社の形式として、伝統と斬新さが両立した新らテーマを『神奈川神社』としました。日本文化としての庭園を目指します。

今まであまり取り上げられていない"神社の景"の形式や作法を国内外に知ってもらい、これまでとは違った見方ができるきっかけとなればと思っています。

実際に宮司様からご教授いただき、基本的な作法に重きを置きながら、自由に



みどりと共に -2127-

石勝エクステリア(東急不動産グループ)・(株)石勝エクステリア、東急不動産(株)共同出展

出展場所：【屋外】Urban GX Village、花・緑出展／400㎡

弊社の企業理念「景観10年、風景100年、風土1000年」を踏まえ、園芸博開催から100年後の風景をつくります。メイン展示は敷地中心に配置した円形の草屋根の休憩所で、入口付近から地続きのスロープ状に休憩所の草屋根につながる構成です。スロープから屋根にかけては草花を主体としたナチュラルスティックガーデンが四季の彩り豊かな景観を創出。中心部には芝生と水景が広がる開放的なスペースを設け、風と水と緑がつくる涼を提供。間伐材を用

いたベンチや舗装、樹木材の再活用など資源の循環を軸に計画。デジタル技術として開発中の環境オペレーターによるディスプレイでの説明も予定しています。



風にまつわる季語と植物を組み合わせた庭

岩間造園(株)

出展場所：【屋外】Craft Village／25㎡

季節・時間・天気により表情を変える「風」をテーマに風にまつわる季語と植物を組み合わせた庭をつくります。日本人は、暮らしの中で自然の移ろいに美しさや幸せを見出し、俳句などの文芸や芸術として表現してきました。本展示では、風になびく植物と、季語を記した半透明の布製オブジェクトを組み合わせ、目に見えない「風」を感じる風景を再現します。また、自然のわずかな変化を感じ取り、多彩な言葉を生み出してきた日本人の繊細な心を表現します。

本展示を通して、自然と共に暮らす心地よさや、身近な自然に目を向けるきっかけを提供し、それぞれの暮らしの中に「幸せを創る明日の風景」をつくるヒントを伝えます。



「悠久の森」縄文から現代そして未来へ

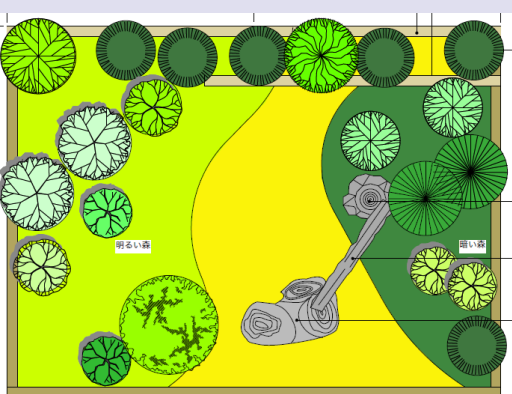
(株)内田緑化興業

出展場所：【屋外】大催事場周辺／75㎡

高中低木・地被類・草花・流木等

を配し、陰と陽のコントラスト(陰影礼讃の世界観)を表現したい。

また、そのコントラストと現在の人間社会の自然との共生(自然への尊敬の念)をメッセージできればと構想しています。



土の中の景

大島造園土木(株)

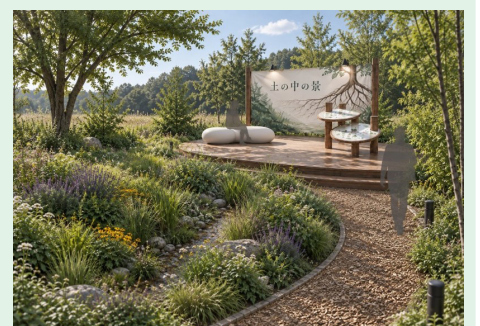
出展場所：【屋外】自然の恵み①／50㎡

●空気や水の流れて通じて土中環境を整えるしくみを紹介します。

●現地で発生する有機物や剪定枝を積極的に素材として用います。

●土と植物の関係性や地域性について紹介します。

●来場者が植物や土に触れ、学ぶことのできる展示とします。



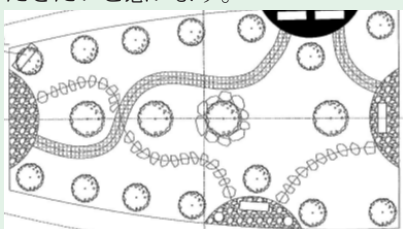
土に触れる感覚、収穫する喜びを提供

湘南造園グループ 湘南造園(株) / (株)ファームビレッジ湘南

出展場所：【屋外】農と食ビレッジ 農と食の庭／200㎡

ミニチュアのオリーブ園を造り、地をオリーブ畑として再生し、神奈川県西部地域の特産品オリーブオイル等を生産しています。深い緑の葉が生き生きと茂るオリーブ園の展示を通して、緑の生命力を感じていただきたいと思っています。

ヨーロッパでは、古くから「生命の樹」と言われているほど、生命力が強い植物として知られるオリーブ。神奈川県湘南・西湘エリアは海からの風と日照時間に恵まれていることから、オリーブの木にとっても栽培に適した場所です。荒廃していた農



流域へ思いを馳せてもらう場所

東光園緑化(株)、(株)スタジオテラ

出展場所：【屋外】里山ビレッジ 恵みの庭／75㎡

会場が和泉川流域に属し、瀬谷市民の森をはじめ4つの市民の森を擁する意義を考え、「本来、私たちの暮らしと密接に関わり合っている川のはじまりと、その流域へ思いを馳せてもらう場所」を目指した計画で、すべて近接する瀬谷市民の森等から掘り取り、養生して植栽。版築土塀や園路も現地の土を使用。ブース内の流れも浸透水脈で和泉川に戻るでしょう。施工プロセスや川の流れや周辺の生き物に流域の環境が大切であることを綴った本も展示。版築に囲まれ

た木陰で読むことができ、植物や土の手触り、匂いや色、ブースとその先に臨む森とのつながりから、この土地が持つ自然の豊かさを肌で感じいただきます。



ふるさと自慢

岡山県

「瀬戸内の美と豊かさ」



瀬戸内海

私たちが誇る岡山県の魅力は、何ととっても穏やかな瀬戸内海が魅せる「多島美」の景観です。緑豊かな山並みと青い海、そこに浮かぶ小島々が描く風情は、古くから多くの画家たちを魅了し、キャンパスに描かれてきました。

この一幅の絵画のような風景は、造園に携わる私にとっても自然の造形美の極致であり、常に深いインスピレーションを与えてくれます。

この豊かな内海は美味しい海



瀬戸内の多島美

の幸の宝庫でもあります。新鮮な魚介類に加え、「日本のエーゲ海」と称される牛窓で太陽の光を浴びて育つオリーブや、千年の歴史を持ち土と炎のぬくもりを伝える「備前焼」など、地域の自然と風土が育んだ豊かな恵みや文化が息づいています。

白亜のマリーナにヨットが浮かぶ牛窓の風光明媚な景観もま

た、訪れる人の心を惹きつけてやみません。

さらに近年では、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」が開催され、大きな賑わいを見せています。

岡山市唯一の有人島・犬島では、銅製錬所の遺構を活用した「犬島精錬所美術館」をはじめ、島全体がアートと自然の融合する特別な空間となっています。



オリーブ園



牛窓ヨットハーバー

自然の造形美と旬の恵み、歴史ある伝統工芸、そして現代アートが調和する私たちのふるさと・岡山。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

岡山県支部 青木 浩平
(瀬戸内造園株)

街路樹剪定士の更新手続き実施中

街路樹剪定士の更新対象者は、今年度末（3/31）に有効期限を迎える方、有効期限が過ぎている方で、今年度末に有効期限を迎える方と有効期限を過ぎて3年以内の方には、9月末に案内ハガキを郵送しております。

更新方法は資格者専用ページからマイページにログインし、3つの手続きを行います。

1. オンラインでの講習を受講（カメ

ラ・マイク等不要）
2. 受講料の納入（クレジットカード・コンビニ払い・ペイジー（ATM決済））
3. 認定証に使用する顔写真の送信

手続期間は2026年10月1日～2027年1月31日で、更新手数料はオンラインの場合14,300円（税込）。

詳しくは日造協ホームページをご覧ください。https://www.jalc.or.jp/training/sentei/#block_tag_6llemn3o

2026年度緑地樹木剪定士研修会・認定試験（冬期）

緑地樹木剪定士研修会・認定試験の受講資格は街路樹剪定士であること（資格が有効な方）で、受験資格は緑地樹木剪定士研修会の受講者であることです。

受講・受験の流れは下記の通りです。

1. 日造協ホームページの緑地樹木剪定士のページにあるリンクのCBTSサイトにて受験日の予約・受験料の支払い
2. 送付されたテキストおよび映像講義の動画により研修会受講
3. 予約したテストセンターでの受験日程等は下記の通りです。

申込期間：2026年10月14日(木)～2026年11月30日(月)

研修期間：2026年12月1日(火)～2027年1月5日(火)
(研修期間中は映像講義を何度でも受講可能)
試験期間：2027年1月6日(木)～2027年1月31日(日)
(うち1日を予約)

可否通知：2027年2月中
受講料（税込・テキスト代含）
一般 28,600円
日造協会員 12,100円
受験料（税込）
一般・日造協会員 共通 7,700円
詳しくは日造協ホームページをご覧ください。https://www.jalc.or.jp/training/ryokuchi/

9/3 グリーンインフラ官民連携プラットフォームグリーンインフラ産業展実行委員会において、産業展2027の企画について審議
●造園技術フォーラム部会
9/18 10月に開催するフォーラムと今後の開催、DX等の技術情報発信について審議
●街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会（試験部会）
9/10 2026年度の街路樹剪定士認定試験（学科試験）問題の作成、緑地樹木剪定士認定試験（夏期）の採点について審議
●植栽基盤診断士認定試験（学科試験）
9/13 5つの総支部にて開催。受験者60名
●街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会
9/15 2026年度の街路樹剪定士認定試験（学科試験）問題と緑地樹木剪定士認定試験（夏期）の可否判定について審議。受験者608名
9/16 国土交通省の登録資格に「緑地樹木剪定士」を申請

●植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
9/24 2026年度の士学科試験の採点、士実地試験の内容について審議
●植栽基盤診断士認定委員会
9/29 2026年度の士学科試験の可否判定、士実地試験の内容について審議
●女性活躍推進部会
9/8 富山県立中央農業学校、9/9 富山県立小矢部園芸高校で出前講座を実施。「造園建設業の仕事入門」を基に、県内の名所や花のクイズを交えて造園について講義、支部長等も交えてディスカッションを行った
●国際委員会（全国）
9/2 2026年度AIPH総会や海外日本庭園再生の進捗について情報共有
●2027年国際園芸博覧会特別委員会
9/13-17 AIPH総会（イタリア・バーリ）9/15 GREEN × EXPO2027 開催半年前記者発表会

編集後記 街の至る所で「GREEN × EXPO 2027」のポスターを目にするようになりました。ホームセンター等でも公式マスコットキャラクター「トゥンクトゥンク」のグッズを見かけ、開催への期待が高まっていることを日々感じています。



情熱の国からの留学生—アイメちゃんと過ごした3カ月

赤井田 浩平



昨年、地元のロータリークラブからの依頼を受け、メキシコから来日した高校生留学生「アイメちゃん」を約3カ月間、自宅でホームステイとして受け入れました。

海外からの留学生を迎えるのは初めての経験でしたが、家族全員が異文化に触れ、お互いに学び合える貴重な機会になると思い、喜んで受け入れました。

3カ月間の生活では、毎日の食事や会話を通じて、日本とメキシコの文化や習慣の違いを楽しく学ぶことができました。

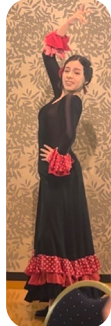
特に印象に残っているのは、一緒に本場のタコスを作ったことです。アイメちゃんは料理がとても上手で、タコスに欠かせない「サルサソース」も手作りしてくれました。新鮮な野菜や香辛料を使った本場の味はとてもおいしく、家族みんなが感動しました。

また、アイメちゃんはフラメンコが得意で、その明るく陽気な人柄は家の中をいつも笑顔でいっぱいにしてくれました。

今年開催されたサッカーワールドカップは、メキシコ開催で、試合を見るたびにアイメちゃんのことを思い出しまし



アイメ誕生日会



フラメンコ



初めての茶道



初めての好み焼き

た。

以前は遠い国だと感じていたメキシコが、ホストファミリーを経験したことでとても身近な存在になりました。スポーツを通じて世界とつながる喜びも感じています。

3カ月という短い期間でしたが、アイメちゃんは家族の一員のような存在となり、別れの日はとても寂しく感じました。この経験を通して、言葉や文化が違っていても、お互いを理解し尊重する気持ちがあれば深い絆を築けることを学びました。

ホームステイは、私たち家族にとって一生の宝物となる貴重な経験です。

・「ひろげよう育てよう みどりの都市」全国大会 [11月]

- 5(木)・広報活動部会
- 6(金)・造園・環境緑化産業振興会 代表者会議・国交省との意見交換会
- 8(日)・第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波 閉会式
- 10(火)・総支部・支部交流会（北陸）
- 13(金)・総支部・支部交流会（四国）
- 24(火)・総支部・支部交流会（北海道）
- 26(木)・登録造園基幹技能者講習（東京）～27(金)
- 27(金)・総支部・支部交流会（中部）
- 30(月)・広報活動部会

委員会等の活動

- 広報活動部会
9/1 日造協ニュース9月号の内容確認、2026年11月までの記事構成、新春号について審議
- 技術委員会

事務局の動き

- 【10月】
- 2(金)・事業委員会企画部会
- 5(月)・中部地方整備局建設部との意見交換会
- 6(火)・広報活動部会
- 7(水)・全国都市緑化祭
- 8(木)・運営会議
・造園技術フォーラム
- 9(金)・全国総支部長・支部長・事務局等合同会議
・花と緑のつどい
・全国都市緑化フェア in 京都丹波 会場視察
- 15(木)・全国造園デザインコンクール審査会
(園芸博覧会プラン賞)
- 16(金)・事業委員会（全国）
- 19(月)・造園領域発展戦略委員会（全国）
- 22(木)・総支部・支部交流会（関東・甲信）
- 29(木)・登録造園基幹技能者講習（大阪）～30(金)
- 30(金)・運営会議
・都市緑化功労者祝賀会